



令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果概要 と 金程小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本校は、コミュニティ・スクールとして、教職員と保護者、地域住民が子どもの成長を支え応援する“地域と共に子どもたちを育む学校”づくりを推進しています。

本年4月18日（木）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査について、本校の「学校教育目標」「めざす子どもの姿」「資質・能力」を踏まえ、3本の柱に沿って学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

1. 自立

【学校教育目標】：「自分のよさを伸ばし、共に支え合い、
【めざす子どもの姿】：「主体的に考える子」「共に支え合う子」
【資質・能力】：「自ら学ぶ力」「人間関係形成力」

2. 協働

3. 創造

よりよい社会を創造する“学び続ける子ども”の育成
「自分から行動する子」
「自律的活動力」

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面であり、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標です。本校の教育活動に対しまして、保護者・地域の皆様のご理解をお願い申し上げます。

I. 調査結果の概要と分析、今後の取組

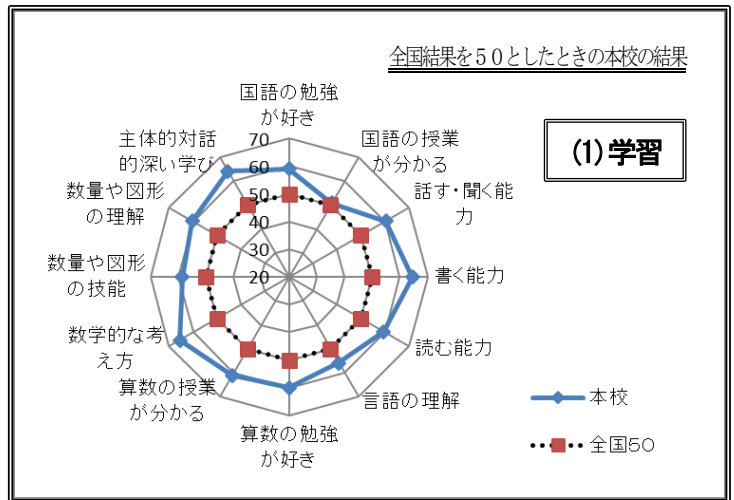
(1) 学習に関する状況について

★教科に関する調査 ②③ ⇒平均正答率を表示しています

★質問紙による調査 ①④ ①～④

「A 当てはまる」「B どちらかといえば当てはまる」「C どちらかといえば当てはまらない」「D 当てはまらない」⇒ABの合算値を表示しています

★金程小% (全国%)



① 国語科・算数科の授業

- ・国語の勉強が好き 73%(64%)
- ・国語の授業が分かる 86%(85%)
- ・算数の勉強が好き 79%(69%)
- ・算数の授業が分かる 95%(84%)

② 国語科

- ・話す・聞く能力 83%(72%)
- ・書く能力 69%(55%)
- ・読む能力 91%(82%)
- ・言語についての知識・理解・技能 59%(54%)

③ 算数科

- ・数学的な考え方 78%(62%)
- ・数量や図形についての技能 82%(74%)
- ・数量や図形についての知識・理解 80%(70%)

④ 主体的・対話的で深い学び

- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる 82%(78%)
- ・自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している 88%(63%)
- ・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる 93%(74%)
- ・授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。 93%(83%)

1. 【自立】の観点 ～ ‘自ら学ぶ力’ の育成～

本校では、見通しをもって学習に取り組み、自分の考えを既習内容や友達の考えと関連づけながら深め、問題解決の過程をふり返ってさらなる学びへと向かう「主体的に考える子ども」の育成を目指しています。

「①分かる」授業づくりに関する調査では、「国語の授業が分かる」(86%)、「算数の授業が分かる」(95%)という回答が得られ、良好な状況と考えています。これは、日頃から授業力の向上を目指し、校内研究を通して発問や教材の工夫に励み続けてきた成果が現れていると捉えています。今後も、子ども達が自分の考えをもち、進んで発信し、それらを繋げていく学習展開を心がけてまいります。

教科に関する調査では、「②国語科」「③算数科」の全ての観点において、全国の平均正答率を上回っており、よい状況と考えます。そして、「④主体的・対話的で深い学び」に関連する全項目の割合が高いことが本校の特長であるといえます。これらの成果の要因は、日々の授業において自分の「めあて」をもち、「話し合う活動」を中心に協働的に学び、分かったことやさらに知りたいこと等を「ふり返る」活動を重視しながら、‘自ら学ぶ力’の育成に努めてきた点にあると考えます。

そのような中で、「②国語科」の「言語についての知識・理解・技能」の観点は、平均正答率が59%であり、習得状況に課題が見られました。漢字や接続語、ことわざ等を身に付けて自分の表現に用いることは、語彙の豊かさに結びつきます。漢字の意味を調べたり、同音異義語を使って文章を作ったりするなど、子ども達が興味をもって習得していくことができるよう指導の工夫に努めていきます。

[*今後の目標：国語科における知識と技能の習得]

(2) 生活や自分自身に関する状況について

① 基本的な生活習慣

- ・朝食を毎日食べている **98%**(95%)
- ・毎日同じくらいの時刻に就寝する **88%**(81%)
- ・毎日同じくらいの時刻に起床する **97%**(92%)

② 自己有用感

- ・自分にはよいところがあると思う **91%**(81%)
- ・先生はよいところを認めてくれる **96%**(86%)
- ・人の役に立つ人間になりたい **98%**(95%)

③ 挑戦心

- ・難しいことも挑戦している **89%**(79%)
- ・将来の夢や目標をもっている **93%**(84%)

④ 達成感

- ・ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある **98%**(95%)
- ・みんなで話し合っただけで決めたことに協力して取り組み、うれしかったことがある **91%**(84%)
- ・先生は分かるまで教えてくれる **91%**(92%)

⑤ 規範意識

- ・学校のきまりを守っている **95%**(92%)
- ・人が困っている時は進んで助けている **93%**(88%)
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う **97%**(97%)

⑥ 学習習慣

- ・家で自分で計画を立てて勉強する **66%**(72%)
- ・読書は好き **75%**(75%)
- ・月曜日～金曜日、1日当たり30分以上読書をしている **48%**(40%)
- ・新聞を読んでいる **23%**(19%)

⑦ 地域や社会に関わる活動

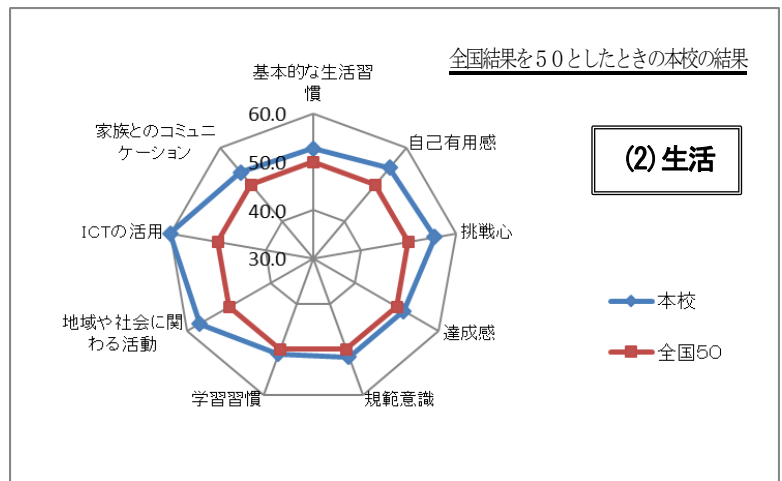
- ・地域の行事に参加している **84%**(68%)
- ・地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある **61%**(55%)
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う **73%**(69%)

⑧ ICTの活用

- ・授業の中で、ICTを週1回以上活用している **77%**(31%)

⑨ 家族とのコミュニケーション

- ・家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしている **82%**(77%)



2. 【協働】の観点 ～ ‘人間関係形成力’ の育成

「②自己有用感」では、「自分にはよいところがある」と答えた割合が91%と高く、大変良好な状況と考えています。また、多くの子ども達が「③難しいことでも失敗を恐れず挑戦」し、将来の夢や目標をもって意欲的に生活していることが分かります。学校のきまりを守り、いじめをどんな理由があってもいけないことと考え、「⑤規範意識」を高めています。これらの成果の要因は、子どもたち一人一人が役割や責任をもって活動する場を保障し、仲間と協力しながら最後までやり遂げることによって、喜びや充実感、達成感を味わう体験を積み重ねていることにあると思われまます。また、各ご家庭で「⑨学校での出来事を安心して話せる関係・環境」を築いて頂いていることにもあると考えています。

今後も、互いに理解し合い、相手の意見を聞いて自分の考えを分かりやすく伝える‘人間関係形成力’の育成に努めていきます。

[*今後の目標：②③④⑤の各項目に関して、今年度比±5%以内を保持]

3. 【創造】の観点 ～ ‘自律的活動力’ の育成～

「⑦地域や社会に関わる活動」では、全国比よりも高い割合で「地域の行事に進んで参加している」「地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えています。これらの成果の要因は、金程小コミュニティ・スクール委員の方や地域、保護者の方々が、日頃の学習活動、フェスティバル等の学校行事、どんど焼き等の地域行事に積極的に参加しあたたかく触れ合っていたことで、子ども達の心の中に、地域への親しみと地域を大切にしたい気持ちが育まれていることにあると考えています。

昨年度の重点目標にあげた「⑥1日あたり30分以上の読書量」は、38%から48%に上がりました。引き続き、書物や新聞に対する興味・関心を高めるために、学習の中で効果的に活用する活動を推進し、読書の楽しさを味わえるようにしていきたいと思ひます。また、「⑧ICTを活用する」ことに自信をもつ児童の割合が大変高いのは本校の特長です。必要な情報を収集したり選択したり、図や表にまとめて相手に分かりやすく発信したりする能力は、現代社会を主体的に生きるために必要だと考えます。情報モラルに関する内容も含め、1～6学年の系統性を考慮しながらプログラミング教育に取り組んでいきます。今後も、見聞を広めながら自分が果たすべき役割を考え、主体的に行動する‘自律的活動力’の育成に努めていきます。

[*今後の目標：読書活動の充実(継続)]

II. 未来を創造していく“学び続ける子ども”の育成をめざして

本校は、「よりよい学校教育がよりよい社会を創る」という理念のもと、教育目標やめざす子どもの姿を学校と家庭、地域が共有し、これからの社会を創る子ども達に求められる資質・能力を明確にして、地域社会と協働しながらその実現をめざす「社会に開かれた教育課程」を推進していきます。引き続き、保護者・地域の皆さまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

教育委員会より

主体的に考える子どもを目指して、子どもたちが学習の見通しをもち、子どもたちが考えたことをつないでいく共同的な授業を行い、ふりかえりを通して新しい学びの定着を図ってきました。また、自尊感情を育て高めるために子供たちの良い言動の価値づけを意図的に行っています。

麻生区・教育担当